

< 様式 6 >

畜産試験場試験・研究課題事後評価表

畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名：豚の飼養管理技術の改善

小課題名：高品質な豚肉を目指した飼料の開発

細目課題名：

| 評価項目                  | 評価点   | 指摘事項  |
|-----------------------|-------|---|
| 1 研究目標の達成度            | 5 / 5 | 県の特徴を活かしたおいしい豚肉生産のための飼料開発という目標はクリアされており、達成度は高い。                                       |
| 2 成果の有用性<br>(普及性、波及性) | 5 / 5 | 食味性の改善効果が見られ、県産豚のブランド強化に役立つ成果で有用性は高い。普及に向けてはコスト面のさらなる検討を望む。                           |
| 3 研究の発展性              | 4 / 5 | 今後は普及に向けてコストや生産法などの研究が必要。また、食味性の改善効果のメカニズムの研究にも発展できる可能性がある。                           |
| 4 研究課題選定の妥当性          | 5 / 5 | 山梨と結びついた特徴の開発の観点から、ブドウ絞り粕の有効活用をはかり、おいしい豚肉の開発を目指した課題で妥当性は高い。                           |
| 総合評価                  | 5 / 5 | 課題選定から研究の内容、成果とも十分に評価できる。本成果が、銘柄豚の飼料で利用され普及することを期待する。そのためにも、飼料の安定生産、コスト低減に関する検討が望まれる。 |

「注」 評価点の目安

| 評価 | 高い | やや高い | 普通 | やや低い | 低い |
|----|----|------|----|------|----|
| 点数 | 5  | 4    | 3  | 2    | 1  |

試験研究機関の処置

今後、ブドウ粕の有用性、食味性の改善効果については、次課題で引き続き検討を行っていく。また、飼料化にあたっては関係機関と連携し進めていきたい。